

# 大阪北摂霊園第2キュービクル（墓域系統）更新 工事仕様書

## I 工事概要

- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| 1. 工事場所 | 大阪府箕面市栗生間谷 地内           |
| 2. 敷地面積 |                         |
| 3. 工事種目 | 受電設備の基礎新設工事 及 左記に伴う外構工事 |

## Ⅱ 建築工事仕様

- ## 1. 共通仕様
- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建設工事編）」(令和４年版)、「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」(令和４年版) 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」(令和４年版) （以下、「標準仕様書」という。）による。
- ## 2. 特記仕様
- (1) 項目は、 の付いたものを使用する。
- (2) 特記事項は、 の付いたものを使用する。  
○印が付かない場合は、※印の付いたものを使用する。  
◎印と△印の付いた場合は、共に使用する。
- (3) 特記事項に記載の (    )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- (4) 特記事項に記載の「別図-     」は、標準仕様書の「別図\_各部配筋」の当該項目を示す。
- (5) 特記事項に記載の「別図2-     」は、標準仕様書の「別図2 ポルト開閉及び片接継手の開先形状」の当該項目を示す。
- (6) は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定期間を目を示す。

○完成時の提出図書

完成図

原図のサイズ      ・ A1      ○A3

種類及び記入内容      ※標準仕様書表1.7.1のうち監督職員が指示するもの。

完成図○データの提出      ○適用する (○D)F

○安全に関する資料 (提出部数      ※各2部      )      (1.7.1(1.7.3

○施工図及び施工計画書      (1.7.2

施工図及び施工計画書として、次のものを提出する。

○鉄筋配筋図 (納まり図含む)

○コンクリート断面図

・鉄骨製作図

・カーテンウォール製作図

・カーテンウォール施工計画書

本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。

提出部数は、施工図の原図及びその断面図等図 (1部) とする。ただし、製作図等で原図として提出が出来ないものは、原図に代わるものとしてよい。

2 仮設工事

・足場その他

○監督職員事務所

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」(厚生労働省平成21年4月)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置するものとする。

※設ける (規模及び仕上の程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。)

(2.2.4

(2.3.1

○設けない

3 土工事

○埋戻し及び盛土

○建設発生土の処理

種 別      ・ A種      ・ B種      ・ C種      ・ D種      ・ 建設汚泥から再生した処理土      G (3.2.3(表3.2.1

C種の場合 (建設発生土受入量      ) m<sup>3</sup>発生場所:      )

○構外搬出適切処理

構外に搬出し、関係法令に適切に処理する

(3.2.5

・構内指定場所に敷き均し

○構内指定場所にたい積

4 地業工事

○砂利地業

・床下防護層

材 料      ※再生クラッシュラン      G      ・切込砂利及び切込砕石      (4.6.2

施工箇所      (4.6.5

※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ビット下を除く)

5 鉄筋工事

○鉄筋の種類

○溶接金網

○鉄筋の継手

○鉄筋のかぶり厚さ

・帯 筋

・壁開口部の補強

○圧接完了後の試験

鉄筋の種類      (5.2.1(表5.2.1

種類の記号	呼 び 名 (mm)
※SD355A	D16以下
※SD355B	D19以上
・	
・	

種 類      ※溶接金網      ・鉄筋格子      (5.2.2

形状等

網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部 位
ワイヤメッシュφ6 150×150	既存ハンドホール補修部分

継手方法等      (5.3.4(5.3.3

部 位	継 手 方 法	呼 び 名 (mm)
柱、梁の主筋	※ガス圧接      ・機械式継手	
その他	※重ね継手	

標準仕様書表5.3.6によるかぶり厚さは目地處から算定する。

(5.3.5

組立の形の種別      ※I形

一般壁      ・A形      ※E形      ・図示

耐震壁      ※図示

抜取り試験      ※超音波探傷試験      ・引張試験      (5.4.9

6 コンクリート工事

○コンクリートの強度

○レディーミクストコンクリートの類別

○セメント

○骨 材

○混和材料

・軽量コンクリート

普通コンクリートの設計基準強度      (6.2.2(6.2.4

設計基準強度 $F_c$ (N/mm) <sup>2</sup>	スラブ	適用範囲
・21	・	
○24	○15	キュービクル基礎

軽量コンクリートの設計基準強度      (6.2.2(6.2.4

設計基準強度 $F_c$ (N/mm) <sup>2</sup>	スラブ	適用範囲
・21	・	
・	・	

種 別      ※I 類      ・II 類      (6.2.1(6.4.1~2(表6.2.1

種 類      (6.3.1(6.13.2(表6.3.1

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 520に示された規定の他、水和熱が7日目で32J/g 以下、かつ28日目で42J/g 以下のものとする。

・高炉セメントB種      G

・フライアッシュセメントB種      G

・

細骨材及び混合細骨材      (6.3.1

・フェロニッケルスラグ細骨材      G      使用部位 (      )

・銅スラグ細骨材      G      使用部位 (      )

・電気炉酸化スラグ細骨材      G      使用部位 (      )

砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分      ※A ・ B      (6.3.1

砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分      ※A ・ B      (6.3.1

※混和剤      ・混和材      (6.3.1(6.3.2

種別等      (6.10.1(表6.10.1

種 別	所要気乾単位容積質量 (t/m) <sup>3</sup>	適用箇所

○無筋コンクリート

○コンクリートの仕上り

適用箇所

※G 14による

設計基準強度

※18 (N/mm<sup>2</sup>)

(G 14)

(G 14.3)

部材の位置及び断面寸法の許容差

(G 2.5) (表G 2.3)

※表G 2.3による

・ (適用箇所)

仕上りの平たんさ

(G 2.5) (表G 2.5)

※標準仕様書表G 2.5による

・ (適用箇所)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ

(G 2.9) (G 6.6) (G 6.8) (表G 2.4)

種 別	選 用 箇 所
○ A種	キュービクル基礎
・ B種	
・ C種	

20

ユニット及びその他の工事

○フェンス

フェンスの種類

・ビニル被覆エキスパンドフェンス

・鋸歯塗装メッシュフェンス

・鋼管フェンス

高 さ

○図示

22

舗装工事

・路 床

路床の構成

・遮断層

厚さ (mm)

※ 150

(22.2.2)

・凍上抑制層

厚さ (mm)

※ 150

・フィルター層

厚さ (mm)

車 道 部

※ 150

歩 道 部

※ 50

路床安定処理

・行う

(22.2.2~3) (表22.2.2)

※添加材料 ( )

・ジオテキスタイル

単位面積質量

60g/m<sup>2</sup> 以上

厚さ (mm)

0.5~1.0

引張強さ

98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数

1.5×10 cm/sec 以上

盛土に用いる材料

(22.2.3) (表3.2.1)

・A種

※B種

・C種

・D種

・建設汚泥から再生した処理土

[G]

試験

・路床土の支持力比 (CBR) 試験

(22.2.5)

・路床の締固め度の試験

・砂の粒度試験

○路 盤

(22.3.2~3) (表22.3.1) (表22.3.2)

舗装の種類	路盤の厚さ (mm)		路盤材料
	車道部	歩道部	
○アスファルト舗装	・100 (○150・250・350)	100	※再生材のクラッシュラン [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]
・カラー舗装	・100・150・250・350	100	
・コンクリート舗装	150	100	
・透水性アスファルト舗装	150	100	
・排水性アスファルト舗装	・100・150・250	—	
・インターロックングブロック舗装	・100・150・250	100	
・転圧コンクリート舗装	150	—	
・コンクリート平版舗装	—	100	
・礫石	—	50	

試験

・路盤の締固め度試験

(22.3.5)

○アスファルト舗装

(22.4.2~3) (表22.4.1)

舗装の種類	車道部の基層	備 考
○アスファルト舗装	・無し ○あり	カラー舗装の種類 ※表層に着色した加熱アスファルト混合物 ・表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物 ・表層の上に常温塗布式舗装 又はニート工法による樹脂系舗装
・カラー舗装	・無し ・有り	

アスファルト

○再生アスファルト

[G]

・ストリートアスファルト

(22.4.3)

骨 材

※砕石

・アスファルトコンクリート再生骨材

[G]

加熱アスファルト混合物等の種類

(22.4.4) (表22.4.5)

表 層

○細粒度アスファルト混合物(13)

・細粒度アスファルト混合物(13)

基 層

粗粒度アスファルト混合物(20)

シーリングの施工

・行う

(22.4.5)

試験

・アスファルト混合物等の抽出試験

(22.4.6)

○街きよ、縁石、側溝

コンクリート縁石、側溝

種 類	形状、寸法
縁石	図示による

○路面表示用塗料

(JIS K 5605 (路面表示用塗料) による)

種 類	施 工 造 用 色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率	
・ 1種 [G]	常 温 液 状	※ 白	※ 150	※ 1.0	塗料総質量に対して 5%以下
・ 2種 [G]	加 熱	・	○ 100	・	
※ 3種 1号	溶 融 粉体状				

## 耐震措置

1) 耐震措置の計算及び施工方法について 標準仕様書、改修標準仕様書、標準図及び、図面に記載なきものは、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備設計、施工指針（2014年版）」による。

2) 次の設計用水平震度及び鉛直震度により、渡付ボルト・アンカーボルトなどの耐震性能を確認し、監督職員の承認を受ける。

イ) 設計用水平震度

機器種別	○ 特定の施設		● 一般の施設		
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	
上層階・屋上・塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階・中間階の定義は次の通りとする。

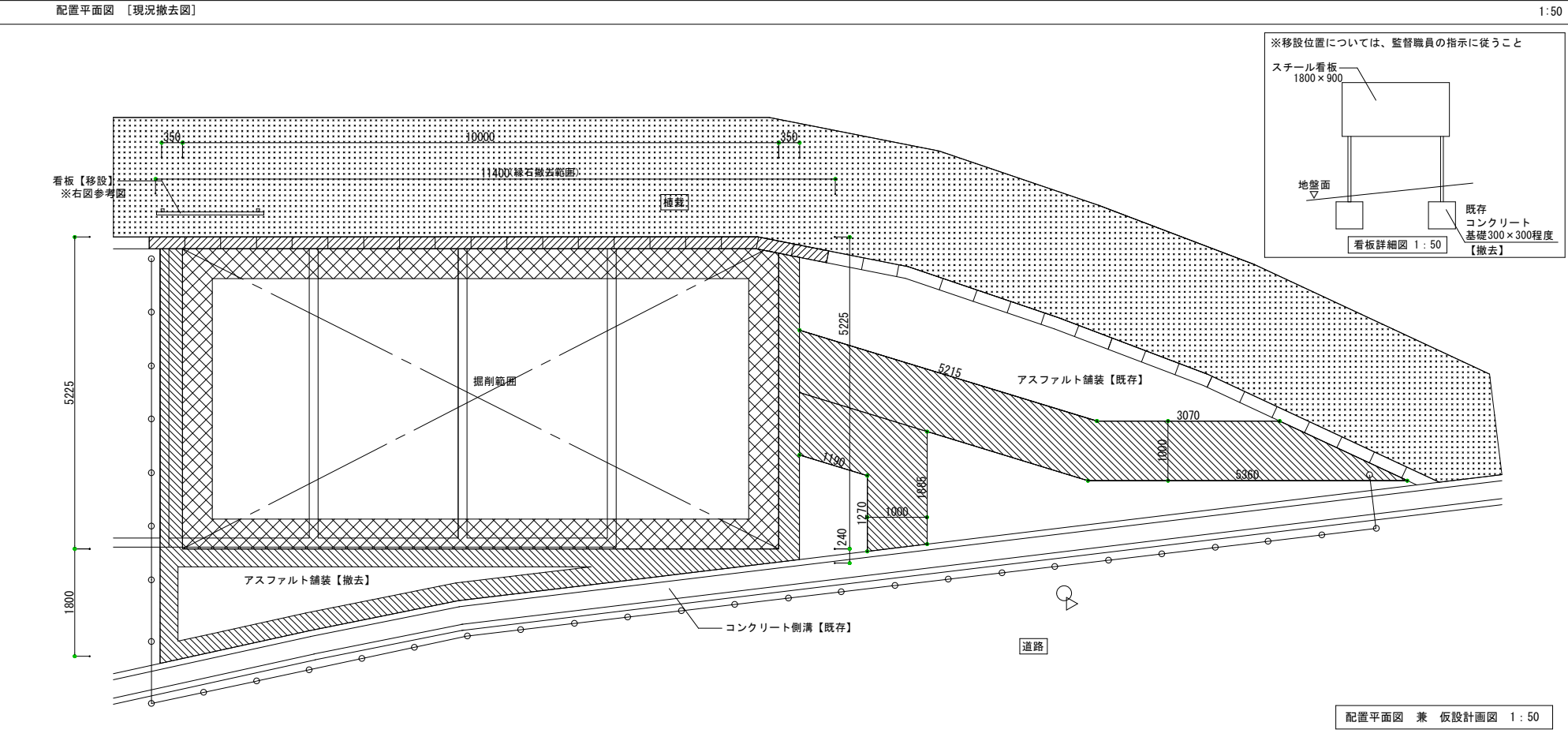
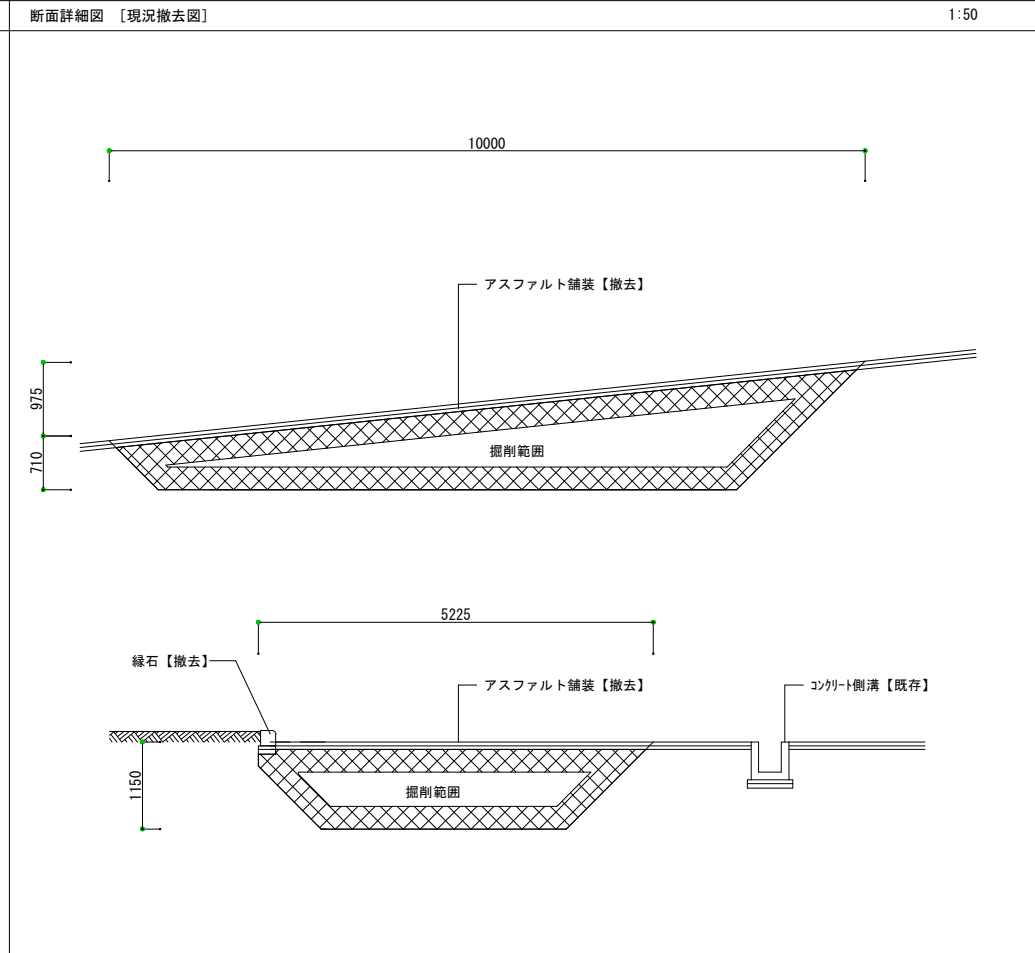
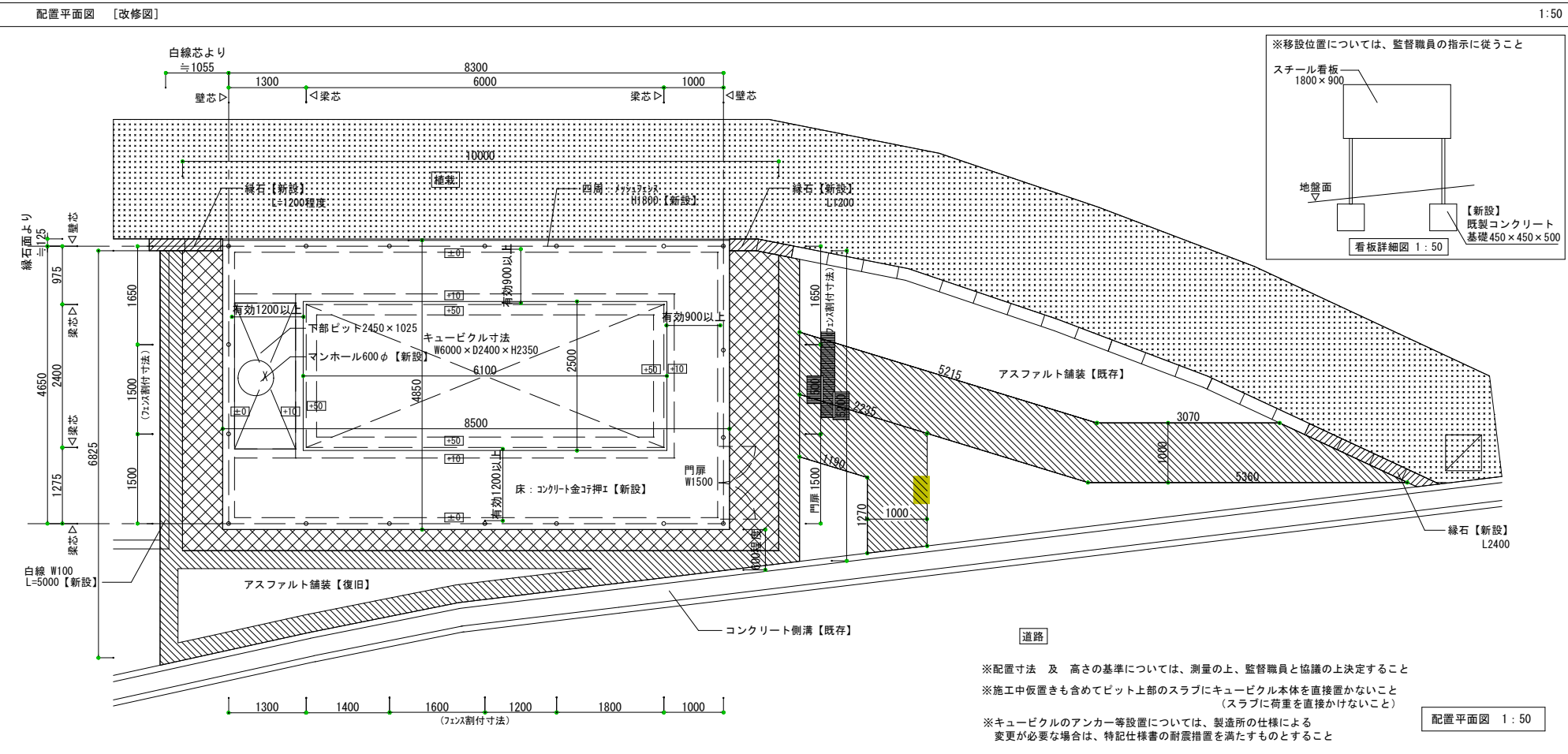
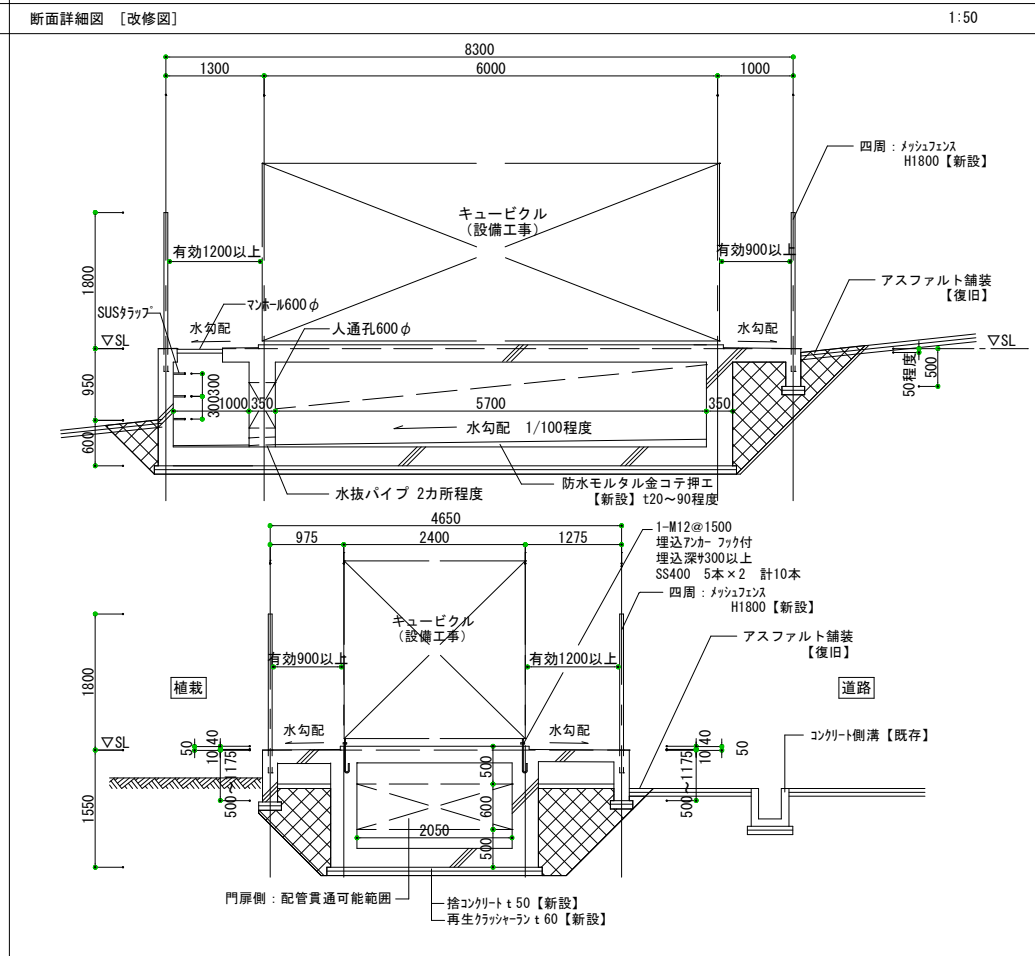
上層階：2～6階建の場合は2階より、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階

中間階：地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

重要機器は、標示による。

ロ) 鉛直震度は、水平震度の1/2とする。

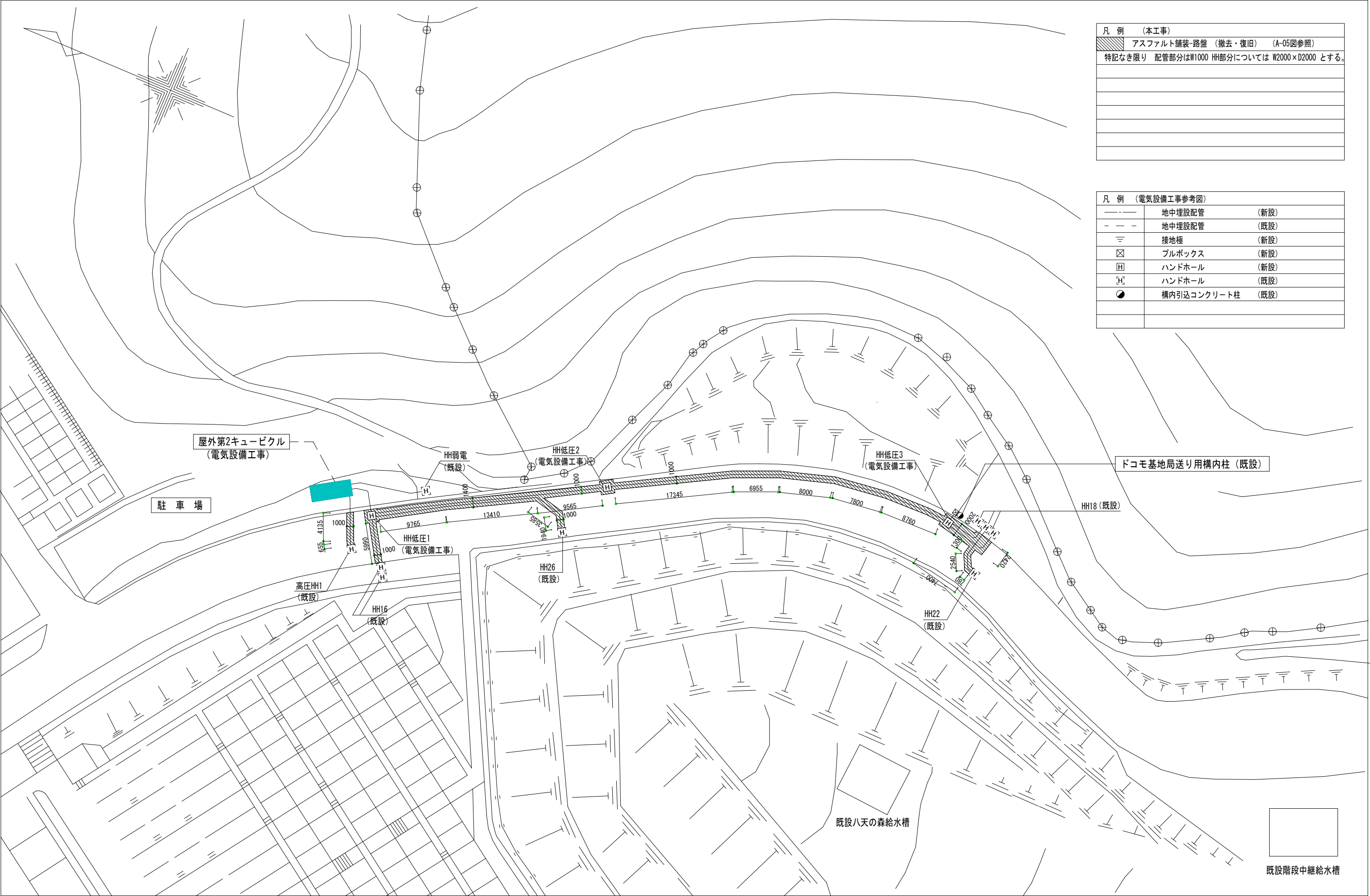
	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部	部 長	課 長	係 長	担 当	縮尺 Non	工事名称 大阪北摂霊園第2キュービクル（墓域系統）更新工事（その2）	A-01/ 06 No
						設計 R05 年 03月	図面名称 特記仕様書	

配置平面図 〔現況撤去図〕				1:50	断面詳細図 〔現況撤去図〕				1:50
									
配置平面図 〔改修図〕				1:50	断面詳細図 〔改修図〕				1:50
									
<div>撤去凡例</div> <div><div><div></div>アスファルト舗装撤去掘削部分</div><div><div></div>緑石撤去部分</div><div><div></div>アスファルト舗装のみ撤去</div></div> <div>改修凡例</div> <div><div><div></div>アスファルト舗装復旧埋戻部分</div><div><div></div>緑石新設 部分</div><div><div></div>アスファルト舗装復旧部分</div></div> <div>SLからの高さを示す</div> <div><div>+50</div></div>					<div>仮設凡例</div> <div><div><div></div>単管バリケード</div><div><div></div>ガードマン</div></div>				
公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部				部 長 課 長 係 長 担 当	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	工事名称	大阪北摂霊園第2キュービクル（墓域系統）更新工事（その2）	A-02/ 06 No
					設 計	R05 年 03月	図面名称	新設部分 配置平面図・断面詳細図	

[illegible]



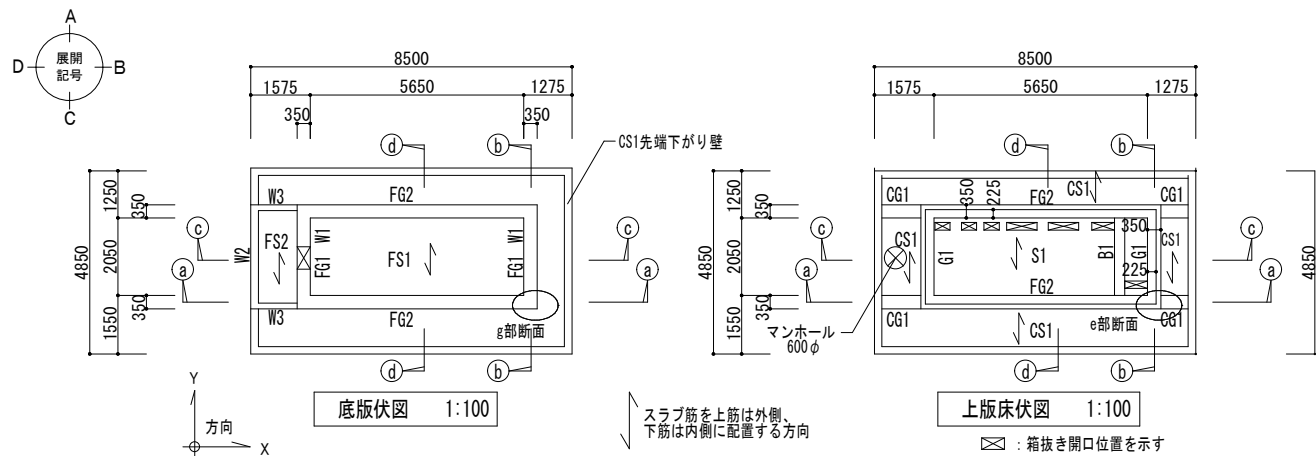
既設キュービクル配置平面図【撤去】		1:50	メッシュフェンス撤去詳細図		1:30	キュービクル基礎撤去詳細図		1:30		
ハンドホール撤去詳細図			1:30			キュービクル基礎撤去詳細図				
			1:30							
既設キュービクル配置平面図【新設】		1:50	メッシュフェンス改修詳細図		1:30	キュービクル基礎改修詳細図		1:30		
ハンドホール改修詳細図			1:30			キュービクル基礎改修詳細図				
			1:30							
<div>凡例</div> <div> 撤去・新設部分</div> <div> 埋戻し部分</div> <div> 単管バリケード</div> <div> ガードマン</div>										
公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部			部 長		課 長	係 長	担 当	縮 尺 A1:1/50 A3:1/100 設計 R05 年 03月	工事名称 大阪北摂霊園第2キュービクル（墓域系統）更新工事（その2） 図面名称 既設部分 撤去詳細図	A-04/ 06 No



凡 例 (本工事)		
<div></div>	アスファルト舗装-路盤 (撤去・復旧)	(A-05図参照)
特記なき限り 配管部分はW1000 HH部分については W2000×D2000 とする。		

凡 例 (電気設備工事参考図)		
<div></div>	地中埋設配管	(新設)
<div></div>	地中埋設配管	(既設)
<div></div>	接地極	(新設)
<div></div>	プルボックス	(新設)
<div></div>	ハンドホール	(新設)
<div></div>	ハンドホール	(既設)
<div></div>	構内引込コンクリート柱	(既設)

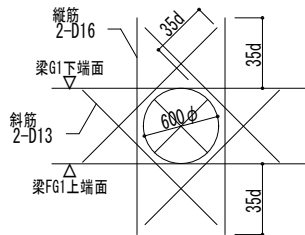
	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部	部 長	課 長	係 長	担 当	縮尺 A1:1/250 A3:1/500	工事名称 大阪北摂霊園第2キュービクル（墓域系統）更新工事（その2）	A-05/ 06 No
						設計 R05 年 03月	図面名称 道路部分アスファルト撤去・改修図	



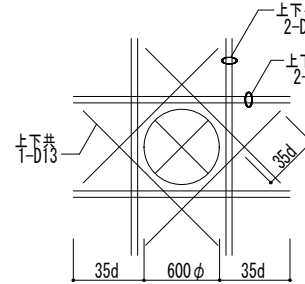
- 特記なき限り下記による。
1. コンクリート :Fc24
  2. 鉄筋 :D16以下 SD295  
:D19以上 SD345
  3. 巾止筋 :D10-@1000
  4. スターラップは135°フック付きとする。
  5. 許容地耐力 :50 kN/m<sup>2</sup>(長期)
  6. Y方向梁の主筋を外側に配置する。
  7. 梁 FG1 及び FG2 開口補強
    - ・スリーブ開口の孔径φ=100mm未満かつスターラップを切断しない場合は補強不要とする。
    - ・孔径φ=100mm以上の場合、開口補強筋として横筋 2-D16(定着35d)を配筋する。
    - また開口際スターラップは□2-D13とする。
  8. 増打部を示す。
  9. 梁主筋の定着長は 35d以上とする。

壁リスト					
符 号	壁 厚	タテ筋	ヨコ筋	開口補強筋	
				タテ	ヨコ
W1	350	D13 @250 ダブル	D13 @250 ダブル	2-D13	2-D13
W2 下がり壁	200	D13 @200 ダブル	D13 @200 ダブル	—	—
W3	150	D13 @200 シングル	D13 @200 シングル	—	—

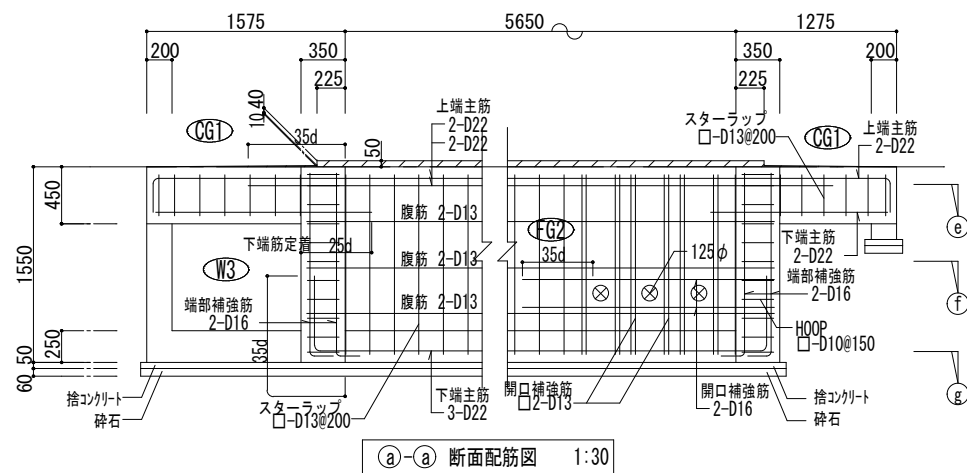
スラブリスト					
符 号	壁 厚	位 置	短辺方向 (主筋方向)	長辺方向 (配筋方向)	
				タテ	ヨコ
S1	150	上端筋	D10D13 @200	D10D13 @200	—
		下端筋	D10 @200	D10 @200	—
CS1	180	上端筋	D13 @200	D13 @200	—
		下端筋	D10D13 @200	D10D13 @200	—
FS1	250	上端筋	D16 @200	D13 @200	—
		下端筋	D13D16 @200	D13 @100	—
FS2	250	上端筋	D13 @200	D16 @200	—
		下端筋	D13 @100	D13D16 @200	—



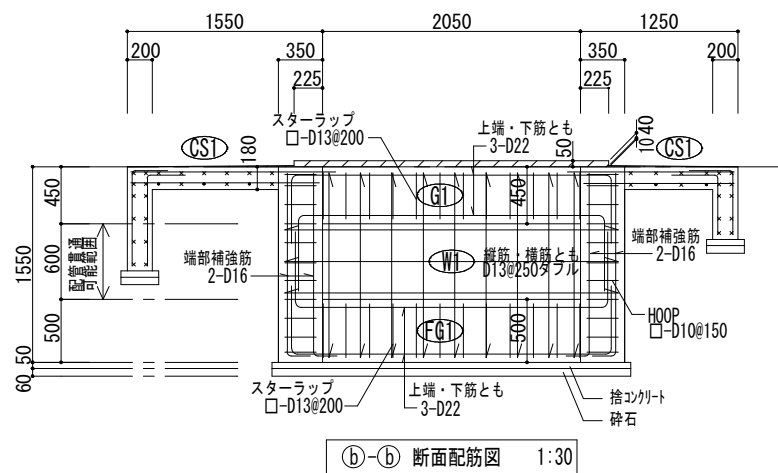
人通孔開口補強要領 1:30



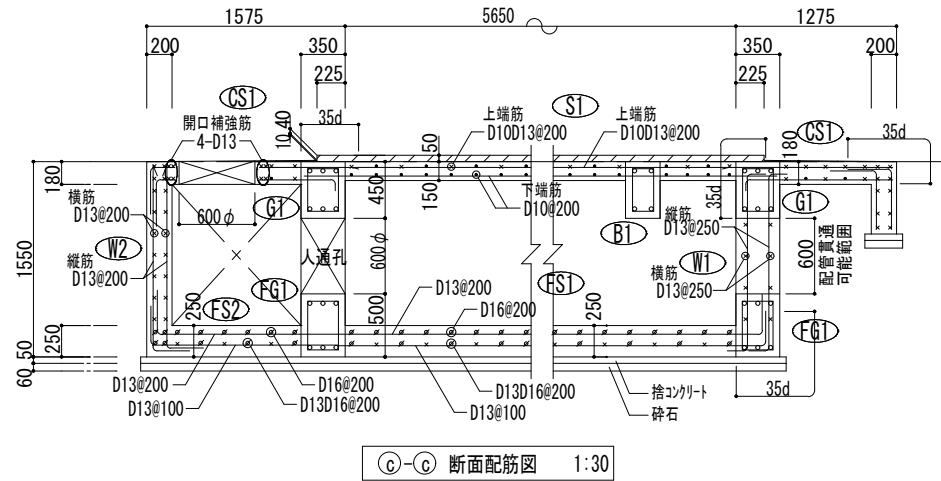
マンホール開口補強要領 1:30



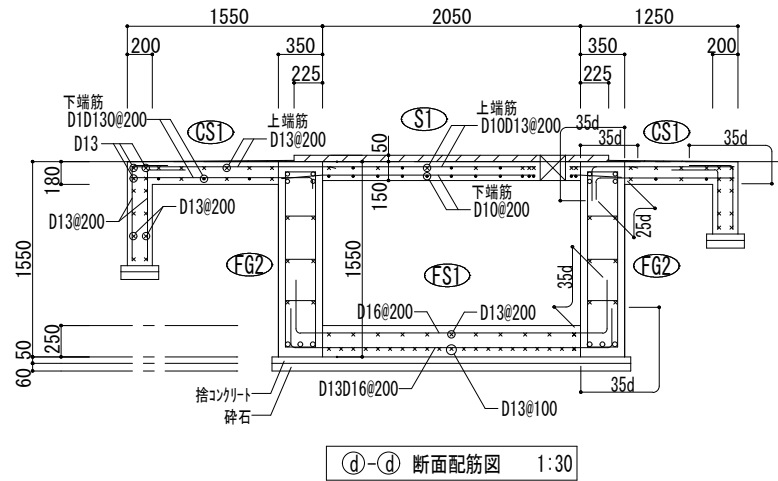
(a)-a 断面配筋図 1:30



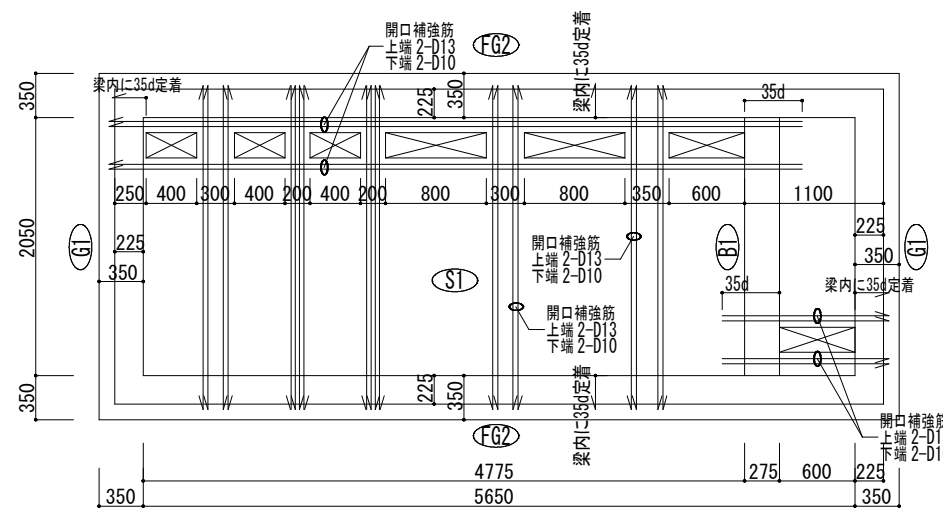
(b)-b 断面配筋図 1:30



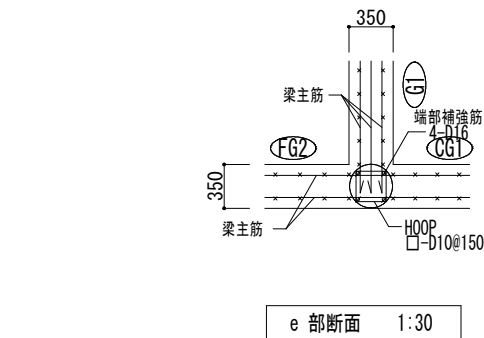
(c)-c 断面配筋図 1:30



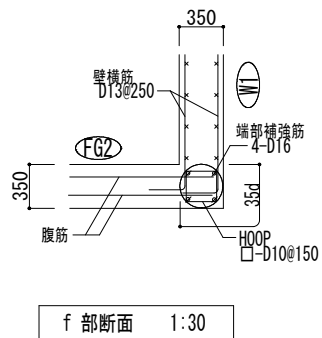
(d)-d 断面配筋図 1:30



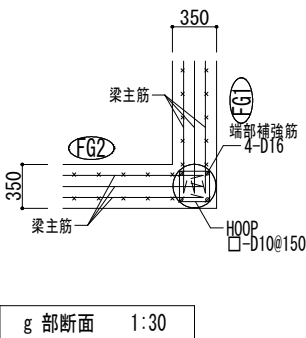
上版版開口補強要領 1:30



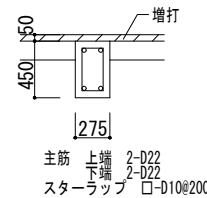
e 部断面 1:30



f 部断面 1:30



g 部断面 1:30



小梁 B1 断面図 1:30

梁リスト 1:30				
符 号	G1	FG1	FG2	CG1
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面				
	B × D	350 x 450	350 x 500	350 x 1550
	上端筋	3-D22	3-D22	4-D22
	下端筋	3-D22	3-D22	2-D22
	スターラップ	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200
腹 筋		—	6-D13	—

公益財団法人 大阪府都市整備推進センター  
千里事業部

部 長 課 長 係 長 担 当

縮尺 A1:1/50  
A3:1/100  
設計 R05 年 03月

工事名称 大阪北摂霊園第2キュービクル（墓域系統）更新工事（その2）  
図面名称 構造部分詳細図

A-06/  
06  
No